

発行日 平成 25 年 6 月 20 日

第 30 号

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院だより

いこいの森

患者さまを中心として、質の高かつ安全な医療を提供します

看護週間のイベントを開催しました

5月12日は、近代看護の基礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。この日を含む週の日曜日から土曜日までの1週間は、「看護週間」として全国で様々なイベントが開催されています。当院では、5月15日(水)、16日(木)の2日間、血圧・体脂肪測定、栄養・お薬相談、自動体外式除細動器(AED)の体験、ハンドマッサージ体験等のイベントを実施し、多くの方々に参加いただきました。



参加者からは、「ゆっくり話ができよかった」、「改めて自分の健康を考える機会になった」、「AEDは以前にも体験したが、繰り返し体験することがいざという時のためには大事だと思った」等の感想をいただきました。皆さまの感想を活かしてよりよい活動となるよう、今後も取り組んでいきたいと思えます。

Seibu Time ②『矢指谷遺跡』

当院の救命救急センター横の坂道を下っていくと、遊歩道のようにになっている一角に、矢指谷(やさしやと)遺跡の案内板があります。この遺跡は、当院が建設された時期(昭和 62 年)に発掘調査が行われました。先土器時代(紀元前 18,000 年頃)のナイフ型石器などが発見され、横浜市内の遺跡の中では最も古い遺跡の一つとのことです。当院の敷地は、有史以来地殻変動などの痕跡がない、丈夫な土地のようです。



DMAT 研修に参加しました

6月3日(月)～5日(水)、東京都立川市にある国立病院機構災害医療センターで実施されたDMAT研修に、当院から榊井救命救急センター長ほか計5名が参加しました。DMATとは「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略してDMAT(ディーマット)と呼ばれています。医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った医療チームです。

全国から70名近い参加者が集まり、初日、2日目は机上訓練や職種別訓練、3日目には模擬患者を対象とした実地訓練がありました。期間中に研修内容について「試験」があり、成績がよろしくない場合は追試がある・・・とのことでしたが、当院参加者は追試を受けることなく無事修了することができました。ここで、得た知識、技能をこれからの日常業務や万一発生した場合の大規模災害に生かしていきたいと考えています。



「障害者総合支援法」が施行されました

平成25年4月1日、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために、障害者総合支援法が施行されました。

この法律は、これまでの障害者自立支援法を一部改正したもので、障害者の定義に新たに難病等(対象となる疾患は国が定める130疾患)が追加されました。これによって病状の程度などにより、身体障害者手帳の取得はできなくても、一定の障害がある場合に障害福祉サービス等を受ける事ができるようになりました。

詳しくは総合相談部ソーシャルワーカー、又はお住まいの福祉保健センターへお問い合わせください。



当院は原則として「初診紹介制」となっています。初めて受診される時は、地域医療機関(かかりつけ医等)からの「紹介状」をお持ちください。

呼吸器内科は初診紹介予約制です。事前に必ずご予約をお願いします。



*当院の休診日について

日曜日、国民の祝日、第1・3土曜日、開学記念日(10月第2土曜日)、年末年始(12月29日～1月3日)

発行：聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 いこいの森編集委員会
〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1 TEL：045-366-1111(代)